

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

2010
平成22年

6.15

目次	
「しみんの広場」	2
投稿記事	
広報サポーター紹介	
地域の話	
市民活動を応援するページ	
スクールレポート	6
学校生活の一コマを紹介	
たはらしティニュース	7
お知らせ	8
連載コーナー	10

移ろう色どりに
夏の気配！





しみんの広場

CITIZEN'S PLAZA

もくじ

- 投稿紹介 2ページ
- はじめまして！広報サポーターです 3ページ
- 地域の話（福江校区） 4ページ
- 市民活動を応援するページ 5ページ

童浦小学校児童が愛知県知事へ深蒸し煎茶をプレゼント

学校茶園で育てた「新茶」

お味はいかが？

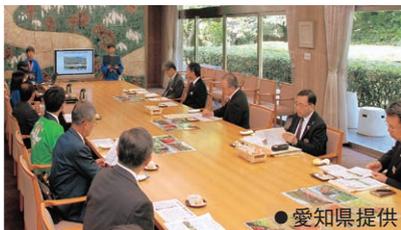


●愛知県提供

▲神田知事（中央）を挟んで児童左から岸本くん、中神くん、村上さん、今田さん

5月12日（水）に、6年生の岸本翔真くん、中神康輔くん、今田夏鈴さん、村上舞帆さんらが鈴木木田原市長とともに県公館を訪れ、神田愛知県知事に新茶をふるまいました。

この新茶は、児童たちが学校茶園で育てたもので、10月24日（日）に田原市で開催される県茶業振興大会のPRを兼ねて、活動発表を行いました。



●愛知県提供

▲テレビ映像を使い活動発表

児童が心を込めていれた深蒸し煎茶を試飲した神田知事は、「香りが高く味に深みがあっておいしい」とニコニコ。最後に、児童から神田知事に深蒸し煎茶の新茶を贈呈しました。



●年長児全員集合！

第一保育園年長児

みんなで作ったよ！ 大きな「こいのぼり」

第一保育園の元気いっぱいの年長児32名が、手形でこいのぼりを作りました。子どもたちのたくましい成長を願って、保育園玄関のロビーに飾りました。

投稿募集

あなたの「とっておきの田原」

広報たはらはでは、市民の皆さんから身近な話題を募集しています。掲載させていただいた方には記念品を差し上げます。

※募集内容

キラリと光る身近な話題（地域のイベントやスポーツ・ボランティア活動、季節の便り、人物など）

※投稿方法

- 写真やイラストに、紹介コメント（100～200字）を添えて
- 直接持参または郵送・電子メールにて
- 様式などは自由

※注意事項

- 営利・政治・宗教活動など、公共の広報紙にふさわしくない内容は掲載できません。写真などは原則として返却いたしません。内容は編集させていただく場合があります。掲載した広報紙はホームページでも公開します。
- 紙面の都合により掲載できない場合があります。

※応募問い合わせ先

〒441-3492（住所不要）
田原市役所広報秘書課

☎22局01388 FAX23局1691

✉kohoh@city.tahara.aichi.jp

市民発!

はじめまして! 平成22年度 広報サポーターです。

田原市が募集した広報サポーターに、私たち4名が選ばれました。これから広報作成やケーブルテレビ市政番組などに関わっていきますので、よろしくお願ひします。身近な話題や、ためになる情報など、市民の皆さんにお届けしていきたいと思ひます。皆さんの地域にも取材に伺うかもしれませんので、ご協力をお願いします。

活発な地域活動を紹介できればと思ひます。



けい こ
喜田恵子
(神戸校区)

こよなく田原を愛する一人として、広報活動のお役に立てればと思ひます。



ふみ お
村上文男
(田原中部校区)

故郷の中国で開催されている上海万博を紹介したいです。



ま ゆ み
山内真由美
(泉校区)

「街角ネットたはら」のナビゲーターとして、話題をお届けします。



とも かず
清田友和
(中山校区)

■お問い合わせ
広報秘書課
☎22局0138 FAX23局1691



▲スズランの街路灯(国道259号・福江市街地)



▲歩道橋の菜の花ラッピング(国道259号・高田交差点)

地域の話題

福江地区

まちづくりの取り組み

「福江地区まちづくりビジョン」を策定し、市民・団体・市役所が一体となって、地域活性化を進めている福江校区から、取り組み状況についてお便りが届きました。

地域発!

平

成21年3月に策定した「福江地区まちづくりビジョン」は、福江校区の「福江町」「保美町」と、清田校区の「高木町」「折立町」「古田町」にまたがる市街化区域の活性化を目指すものです。これまでに、歩道橋の菜の花ラッピング、スズランの花をかたどった街路灯の設置、免々田川沿いへのカワツザクラや菜の花の植栽、ポケットパークの設置などを行ってきました。

地域の手で 憩いの空間を

まちに埋もれている「お宝」の再発見・再発掘を目的に、保美町にある「杜国公園」を整備しました。この公園は、松尾芭蕉の弟子であった



●杜国公園



●ポケットパーク1号

杜国の屋敷跡に昭和63年に設置されたもので、市外からも多くの観光客が訪れます。今回の整備にあたっては、「訪れた方が、公園で俳句を詠むことができるようにしてはどうか」など、地域から出されたアイデアを参考にしました。草取りやベンチ板の塗り直しなどを行うと、見違え

福江保育園児の作品展



福江市民館に展示します。皆さんぜひご覧ください。

展示期間 年長児▷7/30(金)まで
年中児▷8/2(月)～9/30(木)
年少児▷11/1(月)～12/27(日)
時間 月～金(祝日は除く)9:00～17:00

るようにきれいになりました。
また、今年3月には、豊鉄バス「渥美シヨップ前」停留所横に、「ポケットパーク1号」が完成しました。設置したベンチでは、バスを待ちながら語らう学生らの姿が見られます。今後は、古田交差点横にも「ポケットパーク2号」を整備する予定です。
まちの「安心」のために
現在、安全・安心なまちを目指し、災害に備えた防災台帳の作成を、校区全体で進めています。台帳の整備に伴い、「防災対策検討会(仮称)」を設置し、災害が起きた際の自主防災会などと連携した「共助のあり方」も考えていきます。



市民活動を応援するページ.....



市民活動支援センターが変わりました

田原市民活動支援センターは、田原文化会館のフリースペースの一角で、市民活動に関する相談業務などを行っています。今年度から、電話やメールを設置し、より利用しやすい体制としました。市民活動を盛り上げていくため、相談業務の充実、積極的な情報発信などに努めていきますので、市民活動情報などをお寄せいただくとともに、ぜひ当センターをご利用ください。開設時間や連絡先は、下段をご覧ください。今後は、利用状況に応じ、開設日などの変更を検討していきます。

イベント情報

市民活動ニュース

日時	イベント名・内容	会場など	問い合わせ・連絡先
7/11 日 10:00～	磯で遊ぶ会と交流バーベキュー	江比間野外活動センター	環境ボランティアサークル 亀の子隊 ☎ 090-9123-7983 (鈴木) ✉ yoshiharu@kamenoko.org
7/19 日・祝 9:00～	西の浜クリーンアップ作戦 海をきれいにする心を伝えよう！手紙作戦	西の浜海岸 渥美文化会館	
7/25 日 10:00～11:00	ログドラムを使ったリズム遊び ※全7回 (8/22・9/26・10/24・11/28)	衣笠市民館 参加費：3000円(7回分)	「チームログっこ」事務局 ☎/FAX 23-0664 (こくぼ)

市民提案

市の事業を受託してみませんか？

自由なテーマで提案してみよう！

田原市では、「市民提案型委託事業制度」がスタートしました。これは、行政が実施すべき市民サービスや管理業務などについて、効果的な事業内容を提案した団体が、市と委託契約を結ぶものです。今回は、自由なテーマで市民提案が募集されます。市の施策の推進が期待できる内容の事業提案について、事業の担当課と協議し、調整が整った場合は予算計上され、平成23年度に事業を実施することになります。

- 募集期間 7月1日(日)～8月13日(日)
- 対象事業 市の施策が推進される事業で、平成23年度内に実施・完了するもの
- 対象団体 主に市内で公益活動を行う5名以上で構成された団体
- 応募方法 市民協働課で配布する提案用紙に必要事項を記入して直接・FAX・Eメールで提出。提案用紙は市ホームページからもダウンロード可 (<http://www.city.tahara.aichi.jp/>)
- 審査方法 応募団体による担当課への提案内容説明で審査し、協働候補事業を選定
※事業内容の協議が整った場合でも、予算編成の都合上、事業費の削減や次年度へ繰り延べされる場合があります。



●応募・問い合わせ先 市民協働課 ☎23局3504 FAX 23局0180 ✉ kyoudou@city.tahara.aichi.jp

田原市民活動支援センター

市民と市役所でつくるページ♥あなたのニュースも募集中！

1 NPOや市民活動に関する相談を受け付けています。(毎週金・土・日曜 14:00～19:00 田原文化会館フリースペース)

2 このページに掲載する市民活動情報を募集しています。

●お問い合わせ：☎22局1111(内線812)※開設時間のみ FAX 23局0180 ✉ shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp



スクールレポート

SCHOOL REPORT 23

学校生活の一コマ
を紹介

今回は、学校生活の中から、赤羽根中学校2年生の保健体育の授業と、福江小学校の「魅力ある学校づくり事業」をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局3679

赤羽根中学校

2年保健体育「消防署員に学ぶ心肺蘇生法」

赤羽根中学校では毎年、2年生の保健体育「意識がないときの手当」の授業で、心肺蘇生法を学んでいます。教科書には詳しい解説が記載されていますが、実践してみないとなかなか上手にはできないため、消防署員を講師に招き心配蘇生法を体験しました。

5・6名の小グループに1名の署員がついて、細かな説明を受けながら、1人ずつ心肺蘇生法の訓練人形を使い実習をしました。傷病者の口を通して息を吹き込むマウス・ツー・マウス法や心臓が停止していると判断したときに行う心臓マッサージの仕方、AEDの使用方法などを学びました。子どもたちは、思うように息を吹き込めなかったり、心臓を圧迫する力の加減がつかめなかったり、難しさを実感していました。

実習後には、「生命を救うための手当の大切さが実際にやってみてよくわかりました」などの感想が聞かれ、子どもたちの自信につながったようです。



●見本を見せる消防署員



●いざというときに備え真剣に取り組む姿



▼太陽光発電パネル

▲蓄電池とポンプ



●回る水車に感動する子どもたち

福江小学校「魅力ある学校づくり事業」 太陽の力で水車を動かそう！

福江小学校では、自然のエネルギーを感じてもらうために、「魅力ある学校づくり事業」で太陽の光を使って発電する装置を作りました。

今年の2月、校舎の外壁に設置した太陽光発電用パネルで発電された電気を使い、中庭の水車が動き出しました。この水車は、発電された電気ですぐに池の水を汲み上げ動かしており、コイが泳ぐ池「フィッシュランド」の水を浄化する働きも兼ねています。「水車が動いているよ」「すごい！いつも回っているよ」などと、子どもたちの声が聞こえ、クリーンなエネルギーを身近に感じる環境になりました。

子どもたちが、中庭の水車や学校から見える風車の回る姿を見ながら、環境にやさしいエネルギーや自然の力など、多くのことを学んでくれることを楽しみにしています。そして、自然を大切に、自然に感謝する気持ちを育てていきたいと考えています。

5月15日土
共助の中心を担う
防災リーダー

防災リーダー研修会が田原文化会館で開催されました。参加した約100名は、地域の自主防災活動の中心となる防災リーダーの皆さん。災害時の負傷者救出に役立つロープの結び方や搬送方法などの実技を行い、技術を磨いていました。



▲講義では、震災の悲惨さや家具の転倒防止の必要性などを学びました

5月14日金
エコカーテンで
涼しい夏を！

若戸保育園でのゴーヤの植え付けを皮切りに、緑のカーテン事業が始まりました。窓からの日差しをさえぎり、温度上昇を抑える効果のある緑のカーテン。公共施設30か所での取り組みが行われ、夏には皆さんに涼が届けられることでしょう。



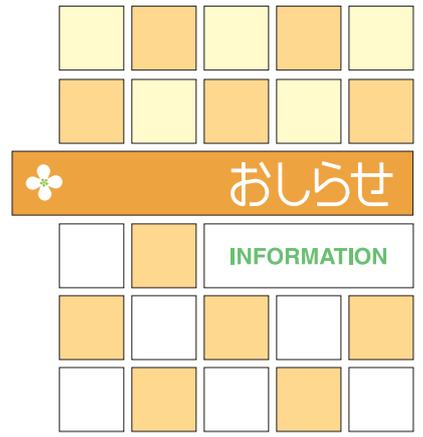
▲ゴーヤの苗を真剣に植える園児たち(中部保育園)

5月30日日
自然にふれて
大切さを学ぶ

汐川干潟で春の汐川干潟自然観察会が開催されました。家族連れなど21組49名の参加者は、堤防から野鳥を観察したほか、実際に干潟に下りて生き物を探するなど、自然を満喫しました。さわやかな青空の下、干潟への理解が深まった一日となったようです。



▲珍しい底生生物を見つけて、笑顔がこぼれる参加者



募集

WANTED

伊良湖地区観光ボランティアガイド研修 参加者

自然や歴史など、伊良湖周辺の多彩な魅力を紹介するボランティアガイドを育成する研修を開催します。研修内容は、観光・自然・歴史などから選ぶことができますが、初回と最終の講座は必ず参加してください。伊良湖の魅力を再発見したい方、多くの方に伝えたい方など、お気軽にお申し込みください。

▼対象 市内在住・在勤の20歳以上の方で、伊良湖周辺まで自分で来ることが可能な方 ▼募集人員 30名

伊良湖地区観光ボランティアガイド研修

開催日	内容	場所
① 7/27(火)	ボランティアガイドを知る (蒲都市ボランティアガイド視察)	蒲都市
② 8/8(日)	伊良湖の自然を知る① 磯の生き物と海浜植物	伊良湖岬
③ 9/25(土)	伊良湖の自然を知る② タカの渡り	伊良湖岬
④ 10月	伊良湖の観光スポットを知る	伊良湖岬
⑤ 11月	伊良湖の歴史を知る	伊良湖岬
⑥ 平成23年2月	おもてなしの心を知る	市内
⑦ 3月	修了式	市内

(先着順) ▼内容 表のとおり

▼参加料 無料(食事代、施設利用料などは実費) ▼申し込み 7月16日(金)までに電話またはFAX。はがきにて(FAX・はがきの場合は、住所・氏名・年齢・性別・職業・電話番号を明記)

*ボランティアガイドとは
地域を訪れる観光客に対し、無料もしくは低料金で自発的に継続して案内を行うボランティア

▼商工観光課
(〒441-3492 住所不要)
☎23局3516 FAX22局3817

生活

LIFE

後期高齢者医療制度の保険料率を改定します

後期高齢者医療制度の財政運営期間は2年間としており、この期間の医療費の財源に充てるため、保険料率の改定を行います。



保険料率

平成20・21年度の保険料率		平成22・23年度の保険料率	
所得割率	7.43%	所得割率	7.85%
被保険者均等割額	40,175円	被保険者均等割額	41,844円

保険料

平成21年度の一人当たり平均保険料	73,998円	平成22年度の一人当たり平均保険料	77,658円
-------------------	---------	-------------------	---------

※7月の保険料算定から改訂となります

保険料の増加を抑えるために

保険料は、一人当たりの医療費の増加などにより、平成21年度と比べて、約12%の増加が見込まれましたが、剰余金や県財政安定化基金を活用することにより、約5%の増加に抑えることができました。

◆保険料が増加する理由

- ① 保険料の算定基礎となる医療費の算定期間が23か月から24か月になったこと
- ② 被保険者一人当たりの医療費などが伸びたこと
- ③ 高齢者人口が増加したことにより、後期高齢者負担率が10%から10・26%になったこと

◆保険料の増加を抑える対策

- ① 平成20・21年度の剰余金などの活用
- ② 後期高齢者医療の財政の安定化を図るために愛知県に設置されている財政安定化基金の活用

※なお、所得の低い世帯の方の保険料の軽減については、平成21年度と変更ありません。職場の健康保険などの被扶養者であった方については、保険料の均等割額が9割軽減され、所得割額は課せられません。

▼保険年金課

☎23局3514 FAX23局0180

**夏の交通安全県民運動
7月11日(日)～20日(火)**

夏のレジャーシーズンを迎え、外出の機会が増えるこの時期は、子どもや高齢者が事故に巻き込まれることが心配されます。交通事故が起これられないよう、地域全体で交通安全運動に取り組みましょう。

重点実施項目

- 飲酒運転を根絶しよう
- 子どもや高齢者を交通事故から守ろう
- すべての座席でシートベルト・チャイルドシートを正しく着用しよう

▼市民協働課

☎23局3504 FAX23局0180

「子どもの人権110番」強化週間

いじめや虐待など、子どもの人権にかかわる悩みごとや心配ごとなどの相談に応じます。相談内容の秘密は固く守られますので、ひとりで悩まず、お気軽にご相談ください。

▼日時 6月28日(月)～7月4日(日) 午前8時30分～午後7時(ただし、土曜・日曜日は午前10時～午後5時)

相談専用電話(フリーダイヤル)

*子どもの人権110番

☎(0120)007局110

▼名古屋法務局人権擁護部

☎(052)952局8111

**障害があると思われる
お子さんの早期教育相談**

愛知県教育委員会では、小学校入学前の、障害があると思われるお子さんと保護者を対象に、教育相談を実施します。相談は予約制で無料です。お気軽にご利用ください。



▼対象 3歳から小学校へ入学する前までの幼児および保護者

▼日時 8月5日(木)、6日(金) 午前9時～午後4時(要予約) ▼場所 東三河総合庁舎
▼申し込み 7月5日(月)までに電話にて

▼学校教育課

☎23局3679 FAX22局3811

**アルコール依存症からの回復
を目指しましょう**

アルコール依存症からの回復を目指す自助グループが、田原市内で

ミーティング「田原なのはなグループ」を開催します。本人や家族だけでなく、友人など、関心のある方ならどなたでも参加できます。

▼日時 7月10日(土) 午前10時～午後3時

▼場所 田原福祉センター13階大会議室

▼参加料 無料

▼CHCO中部北陸セントラルオフィス

(〒462-0844 名古屋市北区清水4-15-1日宝黒川ビル404)

☎(052)915局1602

堀内孝雄コンサート

9/3 金

全席指定

70年代、アリスのメンバーとして活躍した"ペーヤん"の名で親しまれるシンガーソングライターです。

日時 9月3日(金)
午後6時30分開演
(30分前開場)
場所 渥美文化会館文化ホール
入場料 6,300円(当日500円増)
高校生以下500円引き
※未就学児の入場不可



チケット 7月11日(日)午前9時から渥美文化会館で前売り開始(整理券配布なし)詳しくは各文化会館、市民館などにあるチラシをご覧ください。

問合先 生涯学習課 ☎23局3531

★前売りチケットの取り扱い

イベントチケットは、前売り開始日は開催会場での販売で、完売しなければ、翌営業日から各窓口で販売します。(前売開始日の正午から電話予約可)前売券が完売した場合、当日券の販売はありません。

★託児サービス(先着10名・おやつをご持参ください)

イベントの10日前までに、生涯学習課までお申し込みください。

チケット販売・お問い合わせ

田原文化会館 ☎22局6061 FAX 22局6455
赤羽根文化会館 ☎45局3939 FAX 45局3901
渥美文化会館(土・日・祝) ☎33局1000 FAX 34局1010
渥美支所地域課(平日) ☎33局1111 FAX 32局2506

◆お詫びと訂正

5月17日(月)に各戸配布しました第2次田原市行政改革大綱概要版に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

①1頁:財政状況(歳入・歳出)グラフ

- 決算は普通会計を、予算・見込は一般会計を使用。
- H20決算の歳入数値 正「353」 誤「350」
- H21予算の歳入歳出数値 正「305」 誤「288」

②2頁:経常収支比率グラフ

- H20決算数値 正「67.0」 誤「76.7」
- H23見込数値 正「87.0」 誤「88.3」

※詳しくはホームページをご覧ください

▶政策推進課 ☎23局3507 FAX 23局0669

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/>

広がる未来へ

50

*たはらエコ・ガーデンシティ構想

●緑のカーテンで夏に涼を

市では、夏の省エネルギー対策のため、公共施設などの緑のカーテン（壁面緑化）事業を推進していきます。

緑のカーテンは、窓から入り込む日差しをさえぎり、葉の蒸散作用で熱がうばわれるため、カーテンの外側との温度差は約2〜3℃にもなります。緑のカーテンに向いているのは、夏の間はよく茂り、秋になると枯れるゴーヤやアサガオ、ヘチマ、ヒヨウタンなどのつる性植物です。皆さんも今年の夏は、緑のカーテンで涼しい夏を過ごしてみませんか。



●中部保育園のゴーヤ(昨年)

▲プランターや庭などにつる性植物を植え、2階などからネットやひもを張りましょう

●たはらエコチャレンジ宣言登録者数
個人795人 事業所38か所(5月末現在)

●地球温暖化防止啓発ポスター入選作品

●小学校低学年の部

杉原光くん(若戸小学校)



●小学校高学年の部

玉越朱音さん(若戸小学校)



●中学校の部

渡邊翔子さん(赤羽根中学校)



※平成22年3月現在の学校名です

▼エコエネ推進室

☎23局7401 FAX23局0180



省資源とリサイクル

26

田原市のごみ減量化・リサイクルのマスケットキャラクターは「エコロくん」です。今回は、そのエコロくんについてご紹介します。

エコロくんってなあに？



ごみの減量化を推進し、皆さんにリサイクル意識を高めてもらおうと、平成9年度に公募し、たくさんの方の募集作品の中から決まりました。



▲エコロくん

●デザインコンセプト

「eエコロジー」のeeをデザインし、渦巻き形で繰り返し利用することをイメージしています。

頭から生えている一葉は、田原(Tahara)のTと伸びゆく若葉を表し、ごみの減量とリサイクルにより再生する自然環境を表現しています。

どんなところで使われているの？



現在では、田原市指定のものやせるごみ袋や、毎年各家庭に配布している「ごみ収集力レンダー」に使用しています。また、ごみの減量化やリサイクルをPRするときなどにも登場しています。



エコロくんをエコライフのシンボルマークとし、地球にやさしい生活を心がけてい давайтеね。

▼清掃管理課

☎23局35338 FAX23局0180



ゴミゴミンとリサイクルレンジャー



交流通信

このコーナーでは、国内外合わせて7つある田原市の姉妹・友好都市などの情報をお届けします。

▶政策推進課 ☎ 23局3507

友好都市 長野県阿南町から田原福祉専門学校へ新入生！

今年入学した阿南町出身の前島翔太さんに、田原市の印象など、お話を聞きました。

●田原福祉専門学校を選んだ理由は？

将来、介護の仕事に就きたいと思っていたところ、高校の先生からこの学校を薦めてもらいました。体験入学で、学校の雰囲気の良いや先生方の熱意を感じたのでここに決めました。その時、入学料の減免制度*があることを知りました。

●田原市の印象は？

山も海もあって、阿南町と同じく自然が豊かで住みやすいです。夏にはサーフィンをやりたいです。



※入学料の減免制度
東三河在住の方、または姉妹・友好都市提携している市町などに在住の方の入学料が減免される。通常15万円が12万円になる。

●田原市に来たことは？

交流事業で、小学5年生の時に来ました。亀山小学校で、名刺交換やドッジボールで交流したのが印象に残っています。

●阿南町のお勧めは？

国指定重要無形民俗文化財の新野地区の「盆踊り」「雪まつり」がお勧めです。

●抱負を一言！

福祉の心と技術をしっかり学びます。また、田原市の皆さんに阿南町の紹介をし、交流を深めたいと思います。



まえしましょうた
前島翔太さん

阿南町新野地区出身。介護福祉士の資格取得を目指し、田原福祉専門学校へ入学。最近は、蔵王山に登るのが、楽しみのひとつ。

※阿南町の詳しい情報は、町ホームページをご覧ください。

☎ <http://www.town.anan.nagano.jp/>

気象庁は、津波警報・注意報を発表後、予想される津波の高さと到達時間などを、テレビ・ラジオなどを通じてお知らせしますが、

●注意点

阿南町では、津波警報・注意報が発表されると、防災行政無線(市内放送のスピーカー)が自動的に作動し、市内全域に放送します。

田原市では、津波警報・注意報が発表されると、防災行政無線(市内放送のスピーカー)が自動的に作動し、市内全域に放送します。



津波災害が予想される場合、気象庁は、地震などが発生してから3分ほどで津波予報区(田原市は「愛知県外海」「伊勢・三河湾」に該当)に津波警報・注意報を発表します。

忍びよる巨大地震

かんちゃん
津波被害を防ぐために② 津波警報 注意報とは

防災まめ知識

61



◆津波警報・注意報の種類

種類	解説	発表される津波の高さ	
津波警報	大津波	高いところで、3m以上の津波が予想されますので、厳重に警戒してください。	3m、4m、5m、6m、8m、10m以上
	津波	高いところで、2m程度の津波が予想されますので、警戒してください。	1m、2m
津波注意報	津波注意	高いところで、0.5m程度の津波が予想されますので、注意してください。	0.5m

▼防災対策課 ☎ 23局3548

実際に到達する津波は、予想以上に高かったり、到達時間が前後したりすることがあります。警報・注意報が発表された場合は、すぐに高台に避難しましょう。また、津波は第1波より第2波の方が高くなる場合があります。警報・注意報が解除されるまで、海抜の低い場所や海岸には近づかないようにしましょう。

歴史探訪

クラブ! 其の111

History Inquiry Club



文化財課 ☎23局 3635
FAX 22局 3811

伊勢湾との関係を考える

今年3月、伊良湖と鳥羽を結ぶフェリーが廃止になるといって、渥美半島に住む私たちにとってショッキングなニュースが入りました。

その折に、これまでの歴史探訪クラブを読み返し、伊勢と渥美半島との関係を書いたものを探してみました。おさらいしてみると、次の点などについて書いています。

①旧石器時代から縄文時代はじめの遺跡の多さ

②縄文時代終わりの貝塚文化

③弥生時代の銅鐸をはじめとする青銅器文化

④古墳時代の近畿地方との共通性

⑤古墳時代からの古代の塩づくり

⑥中世の渥美窯の発展

⑦伊勢神宮の領地

⑧古代からの歌枕の地

これらから、渥美半島の歴史は、愛知県内でも際立った独特の文化であったことを再認識しました。

①、②については、このような古い時代においても渥美半島を通じて東の文化と西の文化の交流が行われ、石器を作る石が奈良から、縄文時代の終わりには赤色の水銀朱が伊勢から渥美半島にもたらされています。

③については、大陸から

の文化が東へ伝わる際に、海沿いに渥美半島を経由したことを示しています。

④についても、近畿だけでなく九州との交流を思わせるばかりでなく、大和朝廷の東への進出拠点として、伊勢湾が大事な場所であったことが想像されます。

⑤については、海人としての渥美半島の人たちの存在や

海洋資源が、奈良の都にも送られていることがわかります。⑥、⑦は伊勢神宮の力を背景に、その技術、流通が全国規模で発展した証です。また、伊勢湾を中心に発展した海上交通は、日本の経済に及ぼした影響は大きく、渥美窯の製品を全国的に流通させた原動力ともなりました。⑧

あることから、奈良の都の人にとって、伊勢も渥美半島も同じ範囲内と捉えていたことを示しています。このように、渥美半島の文化・経済は、伊勢地方と密接な関係がありました。私たちが思っている以上に、この二つの地域を含む伊勢湾周辺は日本の歴史的に見ても特別な場所であったのは間違いありません。その象徴が伊勢神宮の存在です。同時に、私たちの住む渥美半島が、伊勢湾という海に影響を受け、東西の文化を巧みに受容し、それらを発信していたのです。そして、これら独自の文化を育んだのは伊勢湾

に、この二つの地域を含む伊勢湾周辺は日本の歴史的に見ても特別な場所であったのは間違いありません。

その象徴が伊勢神宮の存在です。同時に、私たちの住む渥美半島が、伊勢湾という海に影響を受け、東西の文化を巧みに受容し、それらを発信していたのです。そして、これら独自の文化を育んだのは伊勢湾

の存在にほかなりません。本来、海は交通を遮断させるものではなく、すべての陸地と接しているという無限の可能性を秘めています。現在のそのような車社会では、車両を載せる航路が絶たれるということは、海が陸路と遮断された空間となるのです。今回のニュースは、1万年あまりも続いた伊勢地方との関係が途切れてしまうと、日本文化の大動脈が途切れると言っても過言ではありません。昭和39年11月から、慣れ親しんだフェリーがなくなるといふニュースに接し、今一度その関係を見直し、その存在の意義を考える必要があるでしょう。(増山)

※4月15号の1行目の「元和」は「天和」、45行目の藩主の「名」は「命」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

今月の「表紙」
▼アジサイの花びらに見える部分は、実はガクだということをご存じですか？これは装飾花と呼ばれ、本来の花は中心部にあります。アジサイの花言葉「移り気」はよく知られていますが、このほかにも「元氣な女性」などがあります。私もあやかっつて、変化を楽しめるくらいにならねば。(O)

【表紙の写真】アジサイの出荷風景(小塩津町)



◀伊良湖岬から鳥羽方面を望む

広報 **Tahara** たはら
編集・発行 / 田原市役所政策推進部広報秘書課
電話 / 0531-22-1111 (代表)
Eメール / koho@city.tahara.aichi.jp
No.668 平成22年6月15日号

本誌は再生紙を使用しています。